

事業所名 放課後等デイサービスココノワ都筑

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

1月

20日

法人（事業所）理念		・小さな要望にも耳を傾け、心を込めて支援します。・どんな時も明るい笑顔と挨拶を欠かしません。・安心安全な環境作りに努めます。						
支援方針		あまりあで学んだことを社会で活かせるよう、お友達と一緒にたくさんの経験をし、豊かな社会生活を送るための支援を目指します。 3つの柱 ・食育→知育 徳育 体育の基本・運動（粗大運動）→身体全体を使った運動・製作（微細運動）→小さな筋肉を使う細かい運動 *ビジョントレーニング						
営業時間		学校休業日	13時00分	から	17時30分	まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	食育：調理活動を行い手作りおやつや行事食を提供する。食域を広げる。 運動：体を動かすことで睡眠リズムを整える。ウォーキング→情緒の安定。 製作：絵を描く ちぎる 貼るなどの微細運動を通し食具を使う事や衣服の着脱に繋げていく。						
	運動・感覚	食育：様々な食材（やわらかい 硬い）を使いながら力加減を学ぶ。 運動：公園の遊具などを利用し、体の動きを高める。 製作：ツルツル ザラザラ ドロドロ ネバネバの感触を楽しめる素材を使用し、感触の変化を楽しむ。						
	認知・行動	食育：スケールや計量カップを使用することで、物の大きさや分量を学ぶ。 運動：ルール性のある遊び（鬼ごっこ等）、ボールやフラフープを使った空間認知を養う。 製作：ビジョントレーニングを取り入れ集中力を高める。						
	言語 コミュニケーション	食育：おいしい 食べてみたい 好きな物を作ってみよう！等の気持ちや意思を伝える言葉を引き出す。 運動：ボール遊びや大縄跳び等、協調性を養う。 製作：季節の壁画の作成を通し、達成感を味わう。						
	人間関係 社会性	公共交通機関 公共施設等の利用を通し、ルールやマナーを学び普段関りのない方々と触れ合い社会性を身に着ける。 家族以外の大人やお友達と出かける事の楽しさを学びながら、他者に合わせた行動や振る舞いを学ぶ。						
家族支援		保護者会の開催（先輩ママからの就学や困りごと等のアドバイスや経験談）。 夏祭りやクリスマス会等、家族も一緒に参加できる季節の行事の開催。 家族がアルバイトできるよう、社会資源の活用へのアドバイス。 老人ホーム（作品を持っていく 折り紙などの遊びを通じた交流） 商店街（買い物レク、外食レク） 季節のイベントに近隣の方に参加・協力をしてもらい事業所の理解を深めていく。			移行支援		児童の発達段階を把握し、就学先や就労先が適切であるか、保護者様や学校等と連携を図りながら支援をしている。本人にとって無理のない環境の提案をしていく。	
地域支援・地域連携					職員の質の向上		外部研修 社内研修。事故報告書 ヒヤリハットの作成を徹底し、再発防止に努めている。1日が終わった後の自分自身の支援の振り返りをして虐待防止に繋げる。ロールプレイを行ないリスク管理をする。	
主な行事等		季節感を感じられる行事を楽しむ（ハロウィン クリスマス 夏の水遊び お月見 等） 公共機関を利用した外出・フードコート等を利用した外食レク。 公共施設（博物館 科学館 水族館等）の利用をし、様々な事を楽しみながら学ぶ。						